

医療福祉学研究科 保健医療学専攻 修士・博士課程

災害医療分野

災害時の保健医療は、チーム医療の推進や多職種による連携強化が図られるようになりました。

そこで、さまざまな保健・医療専門職や行政職等が、災害時の保健医療について系統的に学び、サブスペシャリティとして確立していける修士課程・博士課程を開設しています。業務継続計画(BCP)やマニュアルの策定や見直し、災害訓練の評価方法、教育プログラム開発、組織マネジメントやリーダーシップのあり方などに、探求心と創造力をもって学術的に取り組む分野です。

また、災害時の保健医療に関連する学術分野で活躍されている著名な講師陣をお招きして、災害時の保健医療の知識やスキルを包括的に修得できるカリキュラム構成としています。



災害時の保健医療の更なる発展
生命・人権・尊厳を守る

【修士課程】

【修業年限】2年(修士:災害医療学) 【募集人員】10名程度

【出願資格】一般入試の出願資格のいずれかの要件を満たす者で、災害時に危機管理、地域保健、地域防災の業務を推進している者(将来、当該業務に就くことを希望する者を含む)。

※専門学校等を卒業された満22歳以上の方で、本大学院の出願資格審査で大学卒業と同等以上の学力があると認められた方も出願可能です。詳細は募集要項をご確認ください。

【修了要件】30単位以上修得し、必要な研究指導を受け、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

【博士課程】 2022年度 開設

【修業年限】3年(博士:災害医療学) 【募集人員】3名程度

【出願資格】修士の学位または専門職学位を有する者、および今年度末までに修士の学位または専門職学位を得る見込みの者

※詳細は募集要項をご確認ください。

災害医療分野責任者



石井 美恵子 教授

博士(医学)。

1995年米国で危機管理システムや災害医療を学び、教育や医療支援活動に従事。

主な研究テーマは、業務継続計画の策定と評価、危機管理とリーダーシップ、災害医療に関する教育プログラム開発とその評価、避難所対策と災害(震災)関連死予防。

日本災害医学会理事、JICA国際緊急援助隊医療チーム総合調整部会アドバイザー、災害人道支援会(HuMA)アドバイザー、外務省女性参画推進室女性・平和・安全保障に関する行動計画評価委員、東京都防災会議委員、東京都防災・仮住まい検討会委員、日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2012」大賞受賞。

主な災害支援活動:03年イランバム地震/04年スマトラ沖地震・津波災害/07年ジャワ島中部地震/08年中国・四川大地震/11年東日本大震災/15年ネパール中部地震/16年熊本地震/18年西日本豪雨災害

博士課程 特任教授



小井土 雄一 教授

博士(医学)。

独立行政法人国立病院機構本部DMAT事務局 事務局長。

埼玉医科大学医学部卒業。日本医科大学 連携准教授、埼玉医科大学医学部 客員教授、昭和大学医学部 客員教授、愛知医科大学医学部 客員教授、東京医科歯科大学医学部 臨床教授、東京医療保健大学大学院 看護学研究科 臨床教授。

公益財団法人国際医療技術財団 シニアアドバイザー。

日本災害医学会前代表理事(現理事)、JICA国際緊急援助隊医療チーム特別顧問、災害人道支援会(HuMA)理事、日本・中東医学協会理事、日本・インドネシア医療連携協会理事。国内外の災害派遣(国際緊急援助隊医療チーム副団長等)・JICA海外派遣(調査・セミナー)等多数派遣。



国際医療福祉大学大学院
INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

■ 学生募集要項の請求・入試等に関するご相談

東京赤坂キャンパス入試事務室

〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26

TEL: 03-5574-3903

Mail: daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

